

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

半田病院事務局医事課

半田病院事務局長 竹内 甲司

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
35-001	医事・診療報酬請求事務事業	なし	B	レセプト点検ソフトの精度向上や、毎月開催する保険医療検討委員会にて、減点査定の原因分析および対応方法等を検討し、その内容を、医師等に周知することで、査定率は0.18%となり、前年度と比べ0.03ポイント改善し、目標値である0.22%を達成することができた。	改善 推進	点検ソフトの精度向上を始めとした、点検体制の強化に務めることで、レセプト請求時から査定率の抑制を図っていく。また、保険医療検討委員会での検討内容等を、医師等へ情報提供を行うことで、査定を防止する取り組みを継続していく。
35-002	医療費未収金対策事業	なし	B	現年度分の未収金については、納付意思が希薄となる前に納付を促すなど、早期対応の取り組みを継続したが、収納率は98.74%で、目標値を0.39ポイント下回る結果となった。これは、高額な交通事故による診療費が、未収となったためである。 過年度分の未収金については、平成30年9月から、回収が困難な未収金を弁護士法人へ回収を委託しているが、その成果もあり、収納率は31.80%で、目標値を6.10ポイント上回ることができた。 その結果、全体の収納率は87.87%で、前年度と比べ0.55ポイント増加し、目標値も1.00ポイント上回った。	改善 推進	現年度分の未収金については、早期に対応することで、未収金を抑制する取り組みを継続していく。また、クレジット収納等の拡充や、自動精算機の導入など、支払環境の整備についても進めていく。そして、回収が困難と判断された患者については、弁護士法人へ回収を委託することで、収納率の向上に努めていく。
課等長	1次評価(元年度の総括評価)					
B	診療報酬請求事業については、レセプト点検ソフトの精度向上や保険医療検討委員会における減点査定の精査及びこれに基づく適切対応に努めたことにより、目標値の査定率0.22%以内を達成することができた。 未収金対策事業については、現年度分は、未納者に対する早期対応や法的措置(支払督促)実施の迅速化に努めたものの、交通事故による高額医療費の未納など特殊要因が影響し目標値に僅かに達しなかったが、過年度分について、弁護士法人への徴収委託の活用等により収納率が大きく向上したことにより、現年・過年全体では目標値を達成することができた。 診療報酬と医療費の自己負担金は病院収入の根幹を成すものであり、今後も、より多くの収入確保に向け、積極的に改善に取り組む。					
部等長	2次評価(元年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	診療報酬請求事業については、保険医療検討委員会等の取り組みの効果で、目標を達成できた。今後も、査定原因等を分析し、それを関係者に周知することで、査定率の抑制に努めていく。 未収金対策事業について、現年度分の収納率は、特殊要因の影響で、目標を達成することができなかったが、過年度分については、職員では回収が困難な未収金を、弁護士法人に委託することで、回収に努めた成果もあり、収納率全体としては、目標を達成した。 これらの事業は、病院経営の根幹を成すものであるため、引き続き収入の確保に向けた取り組みを図っていく。					